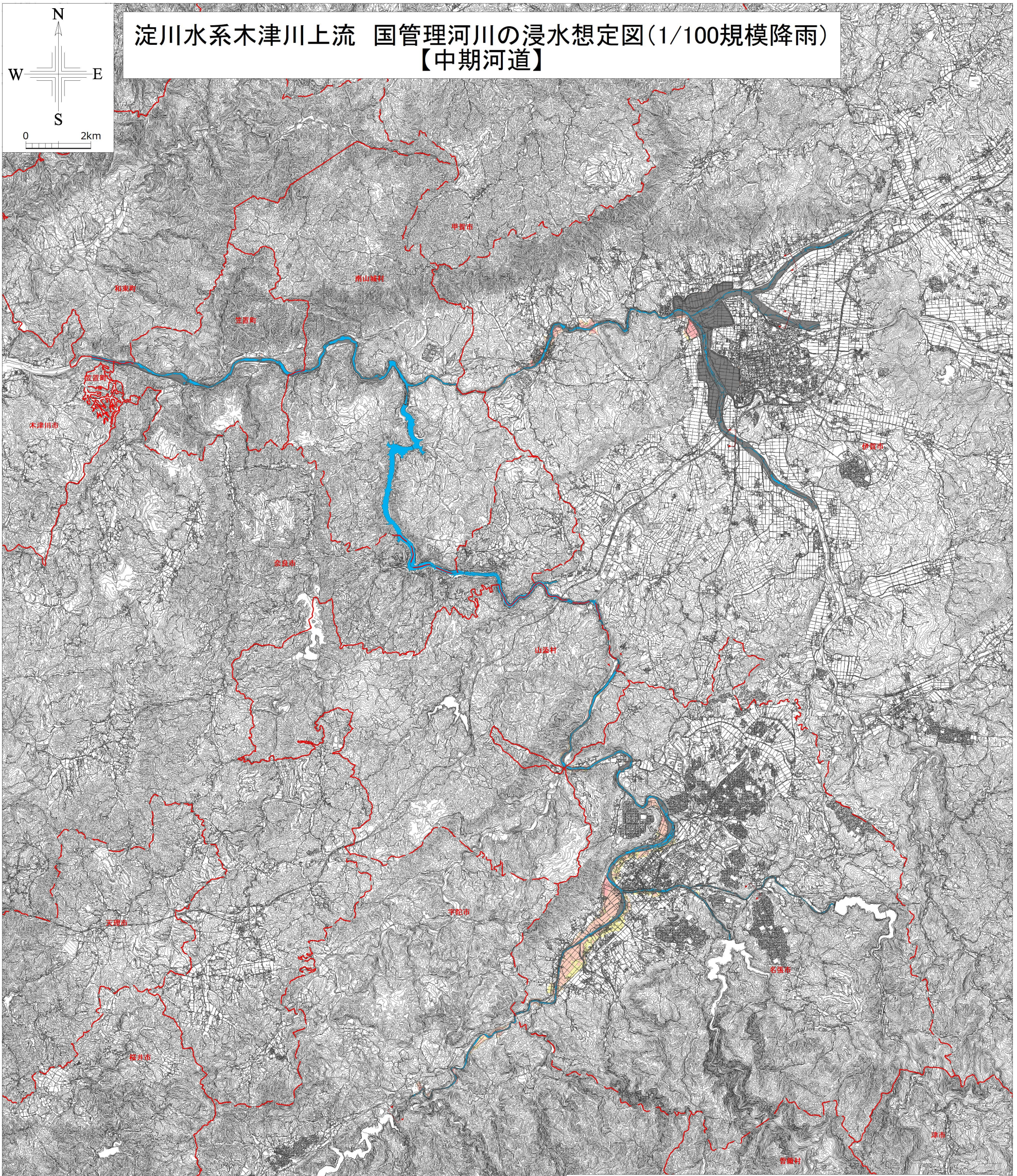
淀川水系木津川上流　国管理河川の浸水想定図（1/100規模降雨）
【中期河道】



凡　例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 5.0m～10.0m未満
- 10.0m～20.0m未満
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

1　説明文

（1）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率 1/100（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/100（1%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（2）この浸水想定図は、中期整備完了（令和 15 年度末）の木津川【上流】・服部川・柘植川・名張川・宇陀川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率 1/100（1%））の降雨に伴う洪水により木津川【上流】・服部川・柘植川・名張川・宇陀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（木津川【上流】（島ヶ原より下流）：昭和 40 年 9 月型、木津川【上流】（島ヶ原より上流）・服部川・柘植川：昭和 47 年 9 月型、名張川・宇陀川：昭和 34 年 9 月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2　基本事項等

（1）公表年月日　令和 5 年 1 月 31 日

（2）作成主体及び対象となる河川　国土交通省近畿地方整備局
・木津川上流河川事務所：淀川水系木津川【上流】・服部川・柘植川・名張川・宇陀川

（3）実施区間

【木津川上流河川事務所】

・淀川水系木津川【上流】
左岸：三重県伊賀市大内字川原 2686 番の 1 地先から京都府相楽郡笠置町笠置字野田坂 1 まで
右岸：三重県伊賀市守田町荒内大内橋地先から京都府相楽郡笠置町大字切山小字宮毛田 3 まで

・淀川水系服部川
左岸：三重県伊賀市服部町字向中川原 2145 番の 1 地先から木津川への合流点まで
右岸：三重県伊賀市服部町字上川原 1354 番の 1 地先から木津川への合流点まで

・淀川水系柘植川
左岸：三重県伊賀市山神字竹ノ下 272 番地先から服部川への合流点まで
右岸：三重県伊賀市山神字谷尻 404 番地先から服部川への合流点まで

・淀川水系名張川
左岸：三重県名張市大字下比奈知松尾 411 番地地先から奈良県山辺郡山添村吉田 1133 番の 2 地先まで
右岸：三重県名張市大字下比奈知下垣内 1186 番地地先から三重県伊賀市大滝 970 番地地先まで

・淀川水系宇陀川
左岸：奈良県宇陀市室生大野 1469 番地地先から名張川への合流点まで
右岸：奈良県宇陀市室生大野 3846 番地地先から名張川への合流点まで

（4）算出の前提となる降雨

年超過確率 1/100

・木津川【上流】（島ヶ原より下流）：加茂地点上流域の 12 時間総雨量 238mm
・木津川【上流】（島ヶ原より上流）：島ヶ原地点上流域の 9 時間総雨量 238mm
・服部川：島ヶ原地点上流域の 9 時間総雨量 238mm
・柘植川：島ヶ原地点上流域の 9 時間総雨量 238mm
・名張川：家野地点上流域の 9 時間総雨量 262mm
・宇陀川：家野地点上流域の 9 時間総雨量 262mm

（5）河道条件：中期整備完了（令和 15 年度末）

（6）関係市町村

奈良市、笠置町、和束町、南山城村、山添村、宇陀市、伊賀市、名張市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。